

キリストの救いの偉大さ

1. 旧約のささげ物の限界＝外側の儀式では、私達の心を内側から、きよめることはできない。

「この（旧約の）幕屋は今の時を示す比喻です。それにしたがって、ささげ物といけにえが献げられますが、それらは礼拝する人の良心を完全にする事ができません」：9。

2. 本物の清め、救いを与えるキリスト＝旧約の儀式、規定は、キリストご自身の十字架のいけにえ、キリストご自身を指示していた。

「キリストは、すでに実現した（十字架の完全な救い）すばらしい事柄の大祭司として来られ、人の手で造った物でない、すなわち、…もっと偉大な、もっと完全な幕屋（地上の幕屋ではなく、天における聖所、神の臨在の中心）を通り」：11。

3. 贖いに用いられた血の違い。

旧約時代：「また、雄やぎと子牛の血によって」：12。

新約時代：キリスト＝「ご自分の血によって」：12。一度も罪を犯されなかった完全に聖なるキリストの血。

4. 回数の違い。

旧約時代：年に一回、毎年繰り返された。

新約時代：キリストの十字架の贖い＝「ただ一度だけ聖所に入り」。

それは、主の十字架の贖いの完全さを示す。繰り返される必要が全くない完全な救いの御業！

5. 有効期限の違い。

旧約時代：一年のみ有効。

新約時代：キリストの十字架の贖いの有効期間＝「永遠の贖いを成し遂げられました」：12。

キリストの十字架の贖い、救いは、永遠に有効。感謝します！

6. きよめられるもの。：13, 14

①旧約時代：やぎと雄牛の血できよめられた。しかし、それは、あくまで、外側のものだった。つまり、儀式の上では、きよめられ、一時的に赦されても、一人一人の民の心まできよめられ、聖く変えられることはなかった。

「それらは礼拝する人の良心を完全にする事ができません」：9。

②新約時代の主の十字架：動物の不完全ないけにえの血ではなく、

「キリストが傷のない（罪のない）ご自分を、とこしえの御霊（とこしえの三位一体なる神の御父と御子イエスと御霊なる神の心は一つ。私たち罪人を救いたいという御父と御子と御霊の愛の一致の心）によって神にお献げになったその血は、どれだけ私たちの良心をきよめて死んだ行いから離れさせ、生ける神に仕える者にすることでしょうか」：14。

キリストが、とこしえの御霊によって神にお献げになった十字架の血は、私達の外側ではなく、

「私たちの良心」をきよめてくださる。

「わたしの律法を彼らの思いの中に置き、彼らの心にこれを書き記す」ヘブル8：10。

主の聖い十字架の血には、きよめる力があり、私達の心の汚れをきよめ、新しい聖い心を与えて下さる。

「良心」の原語：意識、自覚の意。

つまり、物事を見る目、考察する心。自分の言動に対し、善悪の判断を下す心。

i これは、すべての人の心にある。それは、人間が、神のかたち＝御性質に似せて造られたから。それ故、人が、まだ、真理であるイエス様を信じていなくても、ある程度は、道徳の判断がある。

ii しかし、それは、不十分なもの。人が、神から離れた時、この良心も、罪で墮落し、だんだん曇るようになってしまった。私達の良心も、政治家の良心（カジノ法案？）も、役人の良心も、スポーツ界の支配、

権力ある人の良心も不完全。

※人は支配しても、支配されてもいけない！

罪の世に生きる私達の良心は、だんだん腐って行く、麻痺して行く。

iv しかし、希望がある。罪で腐っている私たち人間が、主を信じる時、主の十字架の聖なる血の償いの故に、神は、私達の数えきれない罪を赦し、それだけではなく、主の十字架の血の聖なる力で、私達の良心をきよめ、御霊なる神により新しい命、聖なる性質を与えて下さる。それ故に、不思議な事に、主を信じる前は、何のとがめもなくやっていた（皆もやっているから、もっとひどい事をしている人もいる、等の考え）悪い事が、本当に悪い事だ（人の前以上に神の前に）と自覚（良心のきよめ）でき、その悪、罪を止めるようになる。ある時は、やりたいとさえ思わなくなる。もちろん、その分、心の中の戦いと葛藤が増える事もある。これも、良き訓練であり、本当の救われた、心が変わえられた証拠でもある。そして、御霊は、私達を助け、力を下さる。

7. 積極的な力

①旧約時代：儀式的なきよめ、赦しはあっても、死んだ行いから離れる力、心の変化はなかった。

②新約時代の主の十字架の血による清め、救い

i 罪の赦しだけではなく、死んだ行い、神に喜ばれる実を結べない行い、罪の行いから離れるきよめ、力、新しい心も与えて下さる救い。私達人間に真に必要なのは、この力である。決して、自分の力では、自分の罪の心を変えることはできない。何度、変わろうと決心したとしても！

ii 「生ける（先ほどの「死んだ行い」と反対）神に仕える者（霊的に死んでいた私達は、主を信じる前は、神にではなく、罪に仕える者だった）にする」：14。

私達の仕える神は、生きておられる！

③主の十字架の血、贖いがきよめる→

「御子イエスの血がすべての罪から私たちをきよめてくださいます」Ⅰヨハネ1：7。

「ご存じのように、あなたがたが先祖伝来のむなしい生き方から贖い出されたのは、銀や金のような朽ちる物にはよらず、傷もなく汚れもない子羊のようなキリストの、尊い血によったのです」

Ⅰペテロ1：18, 19